



炭火イタリアン La pace (ラ・パーチェ)

贅沢な時間を約束してくれる「私だけの店」にしたい絶品炭火焼



一番人気Aセット2,100円。全て1か月ごとにメニューが変わるので、毎月違う楽しみも。写真は赤バブリカとじゃがいもの冷製スープ、前菜/ハモのペニエ、メイン/茶美豚コース炭火焼ビーナツ風味、デザート3品、コーヒー、パン。特に冷えても風味が落ちない茶美豚炭火焼は絶品!

四季折々の草花が美しく植えられた庭が広がり、お店に入る前から思わず笑顔が溢れます。一步店内に入るとホワイトとブラウンを基調とした、穏やかであたたかなインテリア。そんな炭火焼イタリアンの店「ラ・パーチェ」はまさに「別世界」という言葉がぴったり。ホテルや人気店で長年腕を磨いたオーナーシェフによる、イタリアン独



コースの最後を飾るデザート3品は歓声があがる可憐さとおしさ。これも1か月単位で内容が一新。コーヒーとマスカルポーネチーズのバルフェ、ビワのコンポート、チョコレート&ラム風味のマカロンの盛り合わせ

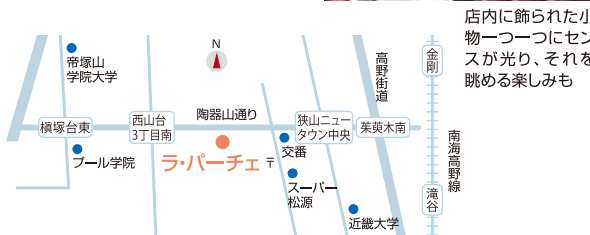


ホワイトとブラウンでまとった店内は上品ながらも堅苦しくない絶妙なインテリア。開放感も抜群

特の「素材の味を活かす味付け」、フレンチの持つ「特別感・演出」を融合させたお料理は、一度食べたら忘れられない美味しさです。

「ドレスコードはありますか?」とお問い合わせがあるほど、外観、内装ともに特別感が漂っています。「いつもどおり、気楽に来てくだされば嬉しいです。時間を気にせずゆっくり、前菜からデザートまでコース料理の醍醐味を味わって頂きたいですね」と語るオーナーシェフ。

美しい風景、最高のお料理、穏やかな時間というフルコースが叶う「ラ・パーチェ」は、その名の通り「平和・安らぎ」が手に入るお店。親しい人にしか教えたくない……そんな「大切な場所」になる事間違いなしです。



●最寄駅: 南海高野線金剛駅 南海バス 狭山ニュータウンセンター下車4分
●住所: 大阪狭山市大野台2-19-5
●Tel: 072-366-7210
●営業時間 ランチ 11:00~14:30 (ラストオーダー14:00)
ディナー 17:30~21:30 (ラストオーダー21:00)
●定休日: 水曜日 ●駐車場: 5台 (店舗裏)
★リビングフレッシュを持参いただくと、ランチメニューのデザート(通常は1皿3品)にプラス1品サービスさせていただきます(9月30日まで)

コラボ 協働で街を元気に

ママごとキッチンづくり大人気!

「木根館」と「ラ・フォレスト」が合同企画



参加者のほとんどが木工初心者。若いママ世代にも大うけの教室は全3回・材料費込みで8,000円

キッズのための手作り家具や木製玩具が、いま若いファミリーの間で大人気。そんな中、おおさか河内材を使った木工教室「ママごとキッチンづくり」が、花の文化園に隣接する河内長野市立林業総合センター「木根館」で開かれ話題を集めています。「森と人との繋がりを深める」を合言葉に、木根館と南河内林業総合センター「ラ・フォレスト」が合同で企画する「奥河内ワークショップ」の一つとして行われる講座で、材料には大

阪府森林組合が提供するおおさか河内材のスギ間伐材が使われています。

6月にスタートした教室には、子どもや孫のために作りたいという男女13人が参加。木根館の木工室を訪れると、糸ノコを使って部品を切る人、蝶ついで扉を取り付ける人など、各々慣れない手つきで奮闘中。「釘1本打ったことなかったけど、主人と一緒にニコイチで参加しています」と、6歳・3歳の2児のママはうれしそうに話していました。



完成品。完成後かわいいキッチン小物を買って帰るのも、楽しみ一つです

リクエストに応じて追加教室が9月にスタートしますが、すでに予約が殺到。「木のぬくもりを感じながら手作りする楽しさと、自作のおもちゃを大切な子どもやお孫さんにプレゼントできる喜び。これがうけたのでは」と、木根館職員の鳴田裕美さん。第3弾は来年1月20日から開催の予定です。

●問合せ先: 河内長野市立林業総合センター「木根館」 高向1818-1 Tel:0721-64-8151

友愛と絆の大輪を咲かそう 大槌の青少年とともに

岩手県大槌中学校 吹奏楽部 コンサート 2012 in かわちながの BRASS 2012年 入場無料 8月8日(水) 13:00開場 13:30開演 ラスールホール 大ホール

このまち大好き!かわちながのの風物詩

一つの株に咲く雌花と雄花



深い緑の杉木立にピンク色の可憐な花が幻想的なムード (写真提供:河内長野市観光協会)

春に咲くカイドウに似ていることからこの名があるシュウカイドウ(秋海棠)。8月半ばのお盆頃から岩湧山中腹に広がる森林公園「岩湧の森」で開花します。湧から江戸時代に渡来したこの花は、耐寒性のペゴニアの仲間。一つの株に形の違う雌花と雄花が咲く「雌雄異花」で、雌花はバンジージャンプしているように垂れ下がり、子房に三角形の突起が付いているのが特徴です。「花が咲いた後、葉の付け根に「むかご」という小豆大の球根状のものが付き、これが地面に散らばって増えるんです。もともと仏壇に供える秋の彼岸の花として岩湧寺の周囲に植えられたものが、野生化したようです」と、岩湧の森四季彩館の職員小西茂さんが教えてくれました。花は四季彩館の近くにある岩湧寺の周辺、石畳の散策路「いにしへの道」沿いに群生し、9月下旬頃まで。節電の折、岩湧の森では、街中よりも5℃ぐらい涼しく避暑にもうってつけ。夏はセミの羽化など昆虫観察もおすすです。キャンプをすれば夜には星空やムササビ観察も、四季彩館で各種情報ももらえます。

●問合せ先: 「岩湧の森 四季彩館」 加賀田3822-1 Tel:0721-63-5986

編集後記 皆さんは「節電避暑地」という言葉をご存知ですか? インターネット等で調べてみると、「家庭で節電のためにエアコンなどのスイッチを切って、ジョギングモールや公共施設などに出かけてその場所を避暑地として代用する」とあります。一般的には、住宅は部屋の容積に比べて外部に面している壁等が大きいため、冷暖房に必要なエネルギーがジョギングモールや公共施設に比べると大きいのです。ですから、エアコンをオフにして出かけることで大幅な節電につながるというわけです。今回、7月から始まった大阪府の「家族で出かけ節電キャンペーン」に私どもも参加し、弊社ショールームを節電避暑地として開放しています。店内では、お気に入りの本などを持ち込んでゆっくりとお過ごしいただくこともOKです。冷たいお茶などもご用意しておりますのでお気軽にお立ち寄りください。なお、弊社以外でも多くの施設が節電避暑地として参加しています。下記アドレスをご覧ください。様々な施設や店舗で特典やサービスを受けることができます。ちなみに、弊社ショールームでは商品をご用意してお待ちしております。(安) (大阪府ホームページ)http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/setsuden/minami_kawachi.html



「フルに限らずオファアをいただいたら、これはできるかな」と思っても、あえて「大丈夫、やります」と言い切ってみるんです。

「祖母が京都で手芸屋を開いてたんです。幼い頃はよくそこで布やボタンをおもちゃにして遊びました。母も手芸が好きで家の中ではいつもミシンの音が聞こえていましたね。ところが、母が不治の病に倒れて……。私と兄は祖母に育ててもらったんです。祖母は母代わりであつても、おばあちゃんとしての愛情をたっぷり注いでくれました。手芸や雑貨は、私にとって大好きなおばあちゃんのものなんです」

「育児の合間に趣味を兼ねて布のカバンや小物を作ってネット販売したのがきっかけです。次第に反響が広がってきたので、大好

やがて成人した玉永さんは幼稚園教諭・保育士に。それまで「好き」の域に留まっていた手芸や雑貨が「仕事」に発展したのは、結婚して3人の娘さんを出産後のことです。

「お顔を見ながらの販売は本当に楽しいですね。子育ての悩みで盛り上がりつつあり」

フルマーケットは、そんな玉永さんを含めてたくさんの人たちのドラマと出会える場。次回は9月17日に開かれます。

「フルに限らずオファアをいただいたら、これはできるかな」と思っても、あえて「大丈夫、やります」と言い切ってみるんです。

「主催されている方から、開催をお手伝いする話をいただいたので3回目から主催者側に。それからはお天気とも戦いながら夢中でした。雨降りでも楽しみに会場に足を運んで下さるお客さま、毎回参加してくださる出店者さん、運営してくださる花の文化園のスタッフの方々:本当に皆さんあつてのフルなんです」

「祖母が京都で手芸屋を開いてたんです。幼い頃はよくそこで布やボタンをおもちゃにして遊びました。母も手芸が好きで家の中ではいつもミシンの音が聞こえていましたね。ところが、母が不治の病に倒れて……。私と兄は祖母に育ててもらったんです。祖母は母代わりであつても、おばあちゃんとしての愛情をたっぷり注いでくれました。手芸や雑貨は、私にとって大好きなおばあちゃんのものなんです」

「祖母が京都で手芸屋を開いてたんです。幼い頃はよくそこで布やボタンをおもちゃにして遊びました。母も手芸が好きで家の中ではいつもミシンの音が聞こえていましたね。ところが、母が不治の病に倒れて……。私と兄は祖母に育ててもらったんです。祖母は母代わりであつても、おばあちゃんとしての愛情をたっぷり注いでくれました。手芸や雑貨は、私にとって大好きなおばあちゃんのものなんです」

「祖母が京都で手芸屋を開いてたんです。幼い頃はよくそこで布やボタンをおもちゃにして遊びました。母も手芸が好きで家の中ではいつもミシンの音が聞こえていましたね。ところが、母が不治の病に倒れて……。私と兄は祖母に育ててもらったんです。祖母は母代わりであつても、おばあちゃんとしての愛情をたっぷり注いでくれました。手芸や雑貨は、私にとって大好きなおばあちゃんのものなんです」

「祖母が京都で手芸屋を開いてたんです。幼い頃はよくそこで布やボタンをおもちゃにして遊びました。母も手芸が好きで家の中ではいつもミシンの音が聞こえていましたね。ところが、母が不治の病に倒れて……。私と兄は祖母に育ててもらったんです。祖母は母代わりであつても、おばあちゃんとしての愛情をたっぷり注いでくれました。手芸や雑貨は、私にとって大好きなおばあちゃんのものなんです」

「祖母が京都で手芸屋を開いてたんです。幼い頃はよくそこで布やボタンをおもちゃにして遊びました。母も手芸が好きで家の中ではいつもミシンの音が聞こえていましたね。ところが、母が不治の病に倒れて……。私と兄は祖母に育ててもらったんです。祖母は母代わりであつても、おばあちゃんとしての愛情をたっぷり注いでくれました。手芸や雑貨は、私にとって大好きなおばあちゃんのものなんです」

いきいきと素敵に暮らす人たちを紹介! 24 「フルマーケット」を主催する雑貨店オーナー・玉永涼子さん



2008年夏のスタートから、これまでに13回開催されたフルマーケット。もともとは玉永さん一人の出店者でした。「主催されている方から、開催をお手伝いする話をいただいたので3回目から主催者側に。それからはお天気とも戦いながら夢中でした。雨降りでも楽しみに会場に足を運んで下さるお客さま、毎回参加してくださる出店者さん、運営してくださる花の文化園のスタッフの方々:本当に皆さんあつてのフルなんです」

「祖母が京都で手芸屋を開いてたんです。幼い頃はよくそこで布やボタンをおもちゃにして遊びました。母も手芸が好きで家の中ではいつもミシンの音が聞こえていましたね。ところが、母が不治の病に倒れて……。私と兄は祖母に育ててもらったんです。祖母は母代わりであつても、おばあちゃんとしての愛情をたっぷり注いでくれました。手芸や雑貨は、私にとって大好きなおばあちゃんのものなんです」

「祖母が京都で手芸屋を開いてたんです。幼い頃はよくそこで布やボタンをおもちゃにして遊びました。母も手芸が好きで家の中ではいつもミシンの音が聞こえていましたね。ところが、母が不治の病に倒れて……。私と兄は祖母に育ててもらったんです。祖母は母代わりであつても、おばあちゃんとしての愛情をたっぷり注いでくれました。手芸や雑貨は、私にとって大好きなおばあちゃんのものなんです」

「祖母が京都で手芸屋を開いてたんです。幼い頃はよくそこで布やボタンをおもちゃにして遊びました。母も手芸が好きで家の中ではいつもミシンの音が聞こえていましたね。ところが、母が不治の病に倒れて……。私と兄は祖母に育ててもらったんです。祖母は母代わりであつても、おばあちゃんとしての愛情をたっぷり注いでくれました。手芸や雑貨は、私にとって大好きなおばあちゃんのものなんです」